

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成 28 年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合評価
シカの高密度化が流域の土砂流出に及ぼす影響評価手法の開発と将来予測 (研究期間：H28 年度～H30 年度)	信州大学 助教授 福山泰治郎	B
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>シカの密度増加が表土流亡に及ぼす長期的影響を評価するとともに、将来予測手法を開発することを目的として、シカが問題視される南アルプスの森林流域でシカの時空間分布、土砂生産の時空間分布（土壌侵食・溪流の土砂流出）、気象（降水量・温度）、下層植生を調査するとともに、砂防堰堤の堆積物分析による流域の環境変動履歴の推定を試みた。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究は、シカに着目して土壌侵食への影響を検討していること、個々の事象について現地の観測結果に基づいた知見が得られていることは評価に値する。</p> <p>今後は個々の事象を統合して、シカの密度増加が表土流出に及ぼす長期的影響評価および将来的予測手法の開発に到達する道筋を検討し、シカが及ぼす影響について実証的な検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い